

『9月の主な動き』

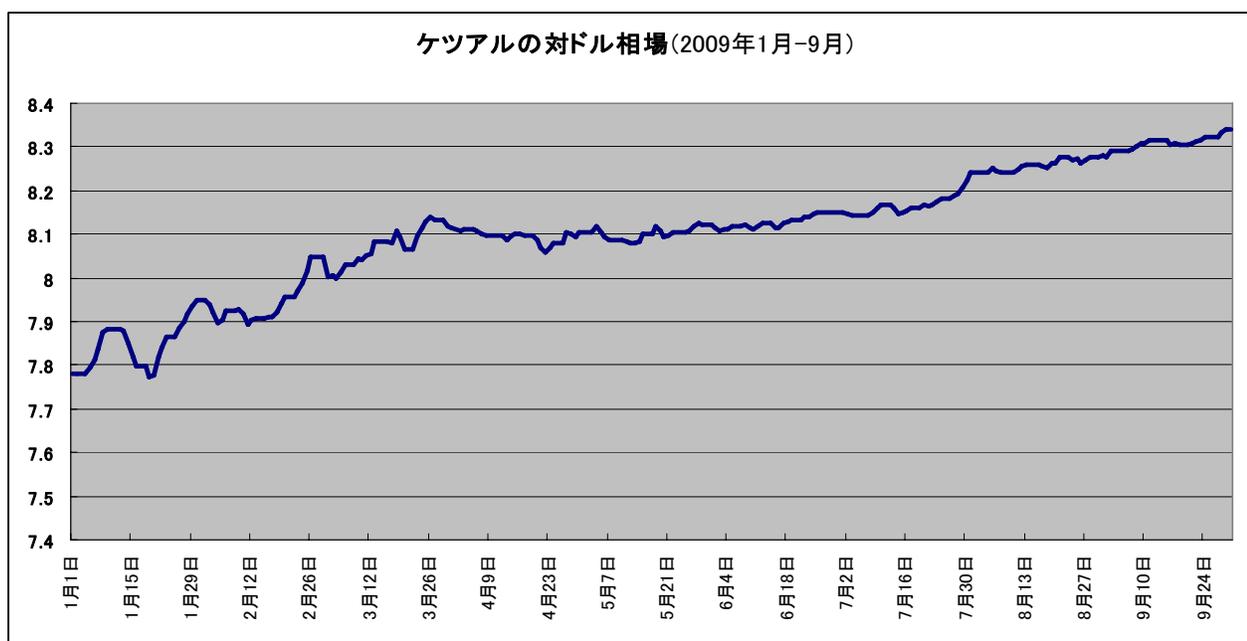
- 9月、消費者物価指数は0.03%の上昇となり、3ヶ月ぶりにプラスに転じた。
- 9月、ケツアル対ドル相場では、引き続きケツアル安が進行しケツアル最安値を更新した。
- 貿易収支では、輸出入の減少(それぞれ前年同期比マイナス9.4%及びマイナス26.7%)が続いた。
- 海外送金についても米国労働市場における失業の影響が依然として続き、前年同月比で10.6%減となった。
- 2日、フエンテス大蔵大臣は、社会支出及び環境分野を優先する2010年国家予算案(総額47,867.4百万ケツアル)を国会に提出した。
- 3日、当地において第二回中国物産展が開始し、建築、家電、電気通信、自動車等を扱う中国企業約30社が参加した。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート(中銀)

9月のケツアル対ドル相場もケツアル安ドル高の傾向が継続し、ケツアル最安値の更新が続いた(9月30日時点1ドル=8.34ケツアル(公定レート)、なお、8月31日時点は1ドル=8.27ケツアル(公定レート))。

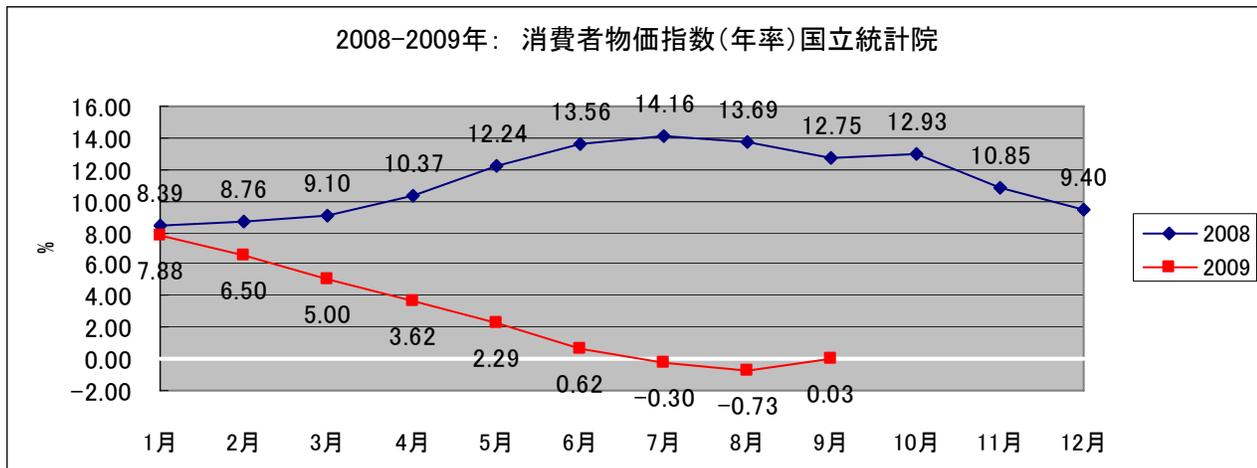
9月8日、ケツアル安進行への対応として、中銀は為替市場におけるドル売り介入(総額24百万ドル)を行った。本年における中銀による為替市場におけるドル売り介入の総額は213百万ドルとなった。



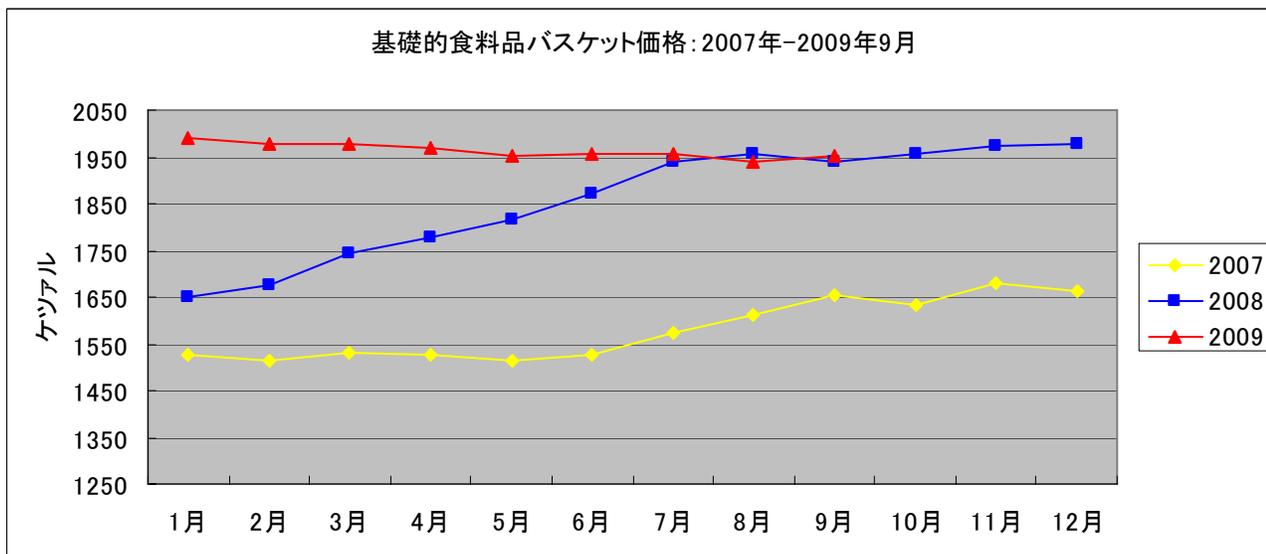
(2) 消費者物価指数(国立統計院 INE)

9月、消費者物価指数は前月比で0.62%上昇し、2009年累積(1月~9月)では0.09%の下落となったが、年

率(2008年8月～2009年9月)では0.03%の上昇となり3ヶ月振りにプラスに転じた。



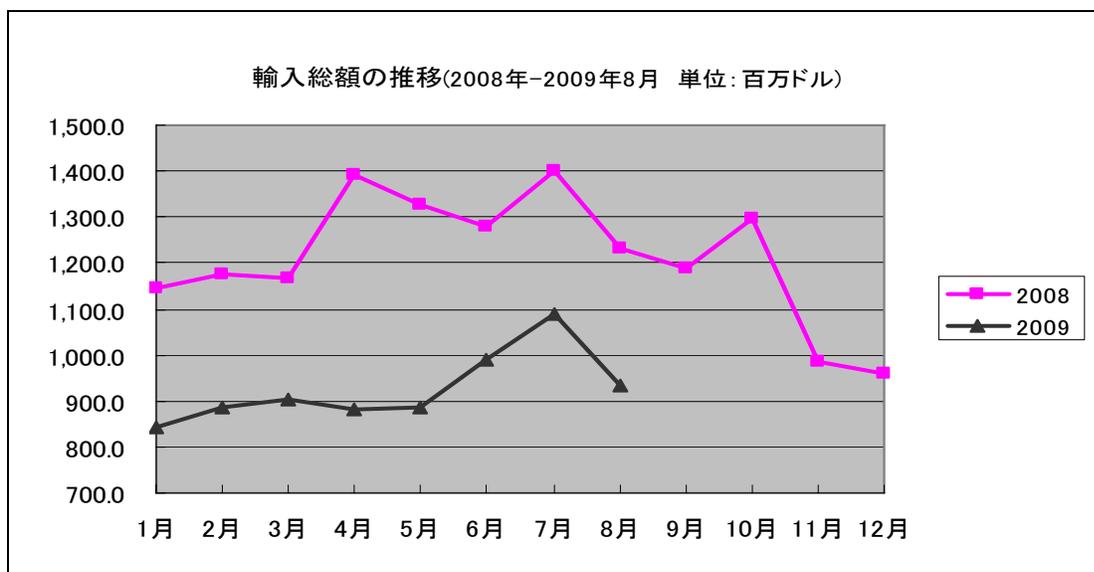
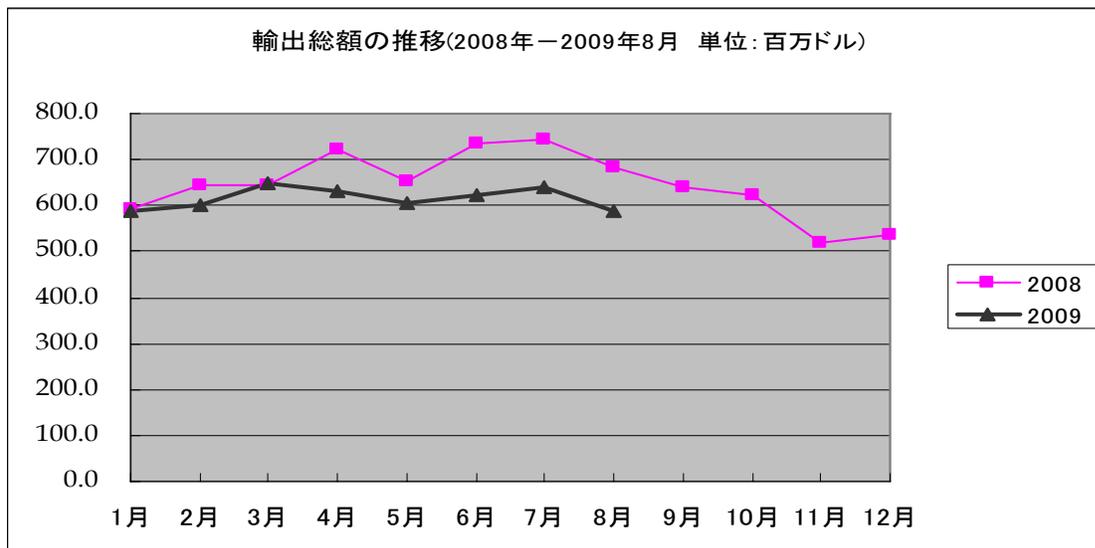
基礎的食料品バスケット(Canasta Básica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目)の価格は前月比でQ11.99(約1.44米ドル)上昇しQ1952.26/月(約234.0米ドル)となった。基礎的生活バスケット(Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの)の価格も、前月比でQ21.88(約2.62米ドル)上昇しQ3,562.51/月(約427.1米ドル)となった。



(3) 貿易統計(中銀)

8月の輸出は590.2百万米ドル(前年同月比9.4%減)、輸入は932.5百万米ドル(前年同月比26.7%減)となった。

2009年1月から8月までの輸出総額は4,910.2百万米ドル(前年同期比9.4%減)、輸入総額は7,416.6百万米ドル(前年同期比26.7%減)で、貿易収支は2,506.4百万米ドルの赤字(前年比51.6%減)となった。



(イ) 輸出

2009年1月から8月までの輸出については、引き続き、中米4ヶ国向けの輸出が減少し、前年同期比 15.0%減の 1,364.3 百万ドルとなったほか、最大の輸出相手国である米国向け輸出も前年同期比 7.8%減の 1,987.8 百万米ドル、メキシコ向け輸出も前年同期比 38.6%減の 214.7 百万米ドルに留まった。また、対日輸出についても前年同期(97.7 百万ドル)比で 3.1%減の 94.7 百万ドルとなった。

一方、輸出品目では、主要製品の伝統的輸出産品(コーヒー、砂糖、バナナ、カルダモン、原油)の輸出は前年同期比 2.9%増となり、特に、バナナ、カルダモン、砂糖の輸出が引き続き増加した。なお、2009年1月から8月までの伝統的輸出産品の輸出総額は 1,476.2 百万ドルに上り、全輸出額の 30.1%を占めている。

(いずれも 8 月までの数値)

	輸出額(百万米ドル)		前年比	輸出量(百万 KG)*		前年比
	2008年	2009年		2008年	2009年	
砂糖	265.0	320.1	+20.8%	971.5	1,054.2	+8.5%
バナナ	198.1	328.6	+65.9%	872.8	1,057.5	+21.1%
カルダモン	118.9	218.2	+83.5%	14.0	13.8	-1.4%
コーヒー	576.7	495.2	-14.1%	202.9	198.8	-2.0%
原油	275.3	113.9	-58.6%	3.1	2.9	-8.8%

*原油の単位は百万バレル

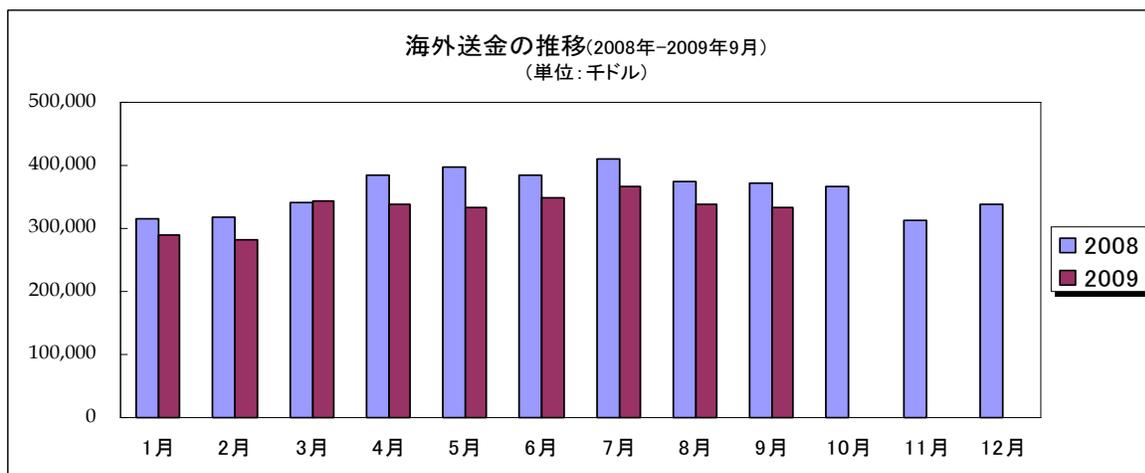
(ロ) 輸入

2009年1月から8月までの輸入については、全般的な輸入量の減少及び、石油、小麦、トウモロコシ等の国際価格下落等を背景に、引き続き前年同期比で減少を続けた。輸入が減少した部門としては、原材料及び中間財が前年同期比 1,012 百万ドル減(同 30.2%減)、燃料及び機械油の輸入が前年同期比 848.8 百万ドル減(同 39.0%減)、建設用資本財等の輸入が前年同期比 251.5 百万ドル(同 20.0%減)、消費財の輸入が前年同期比 192.6 百万ドル減(同 36.3%減)等となった。

(4) 海外送金(中銀)

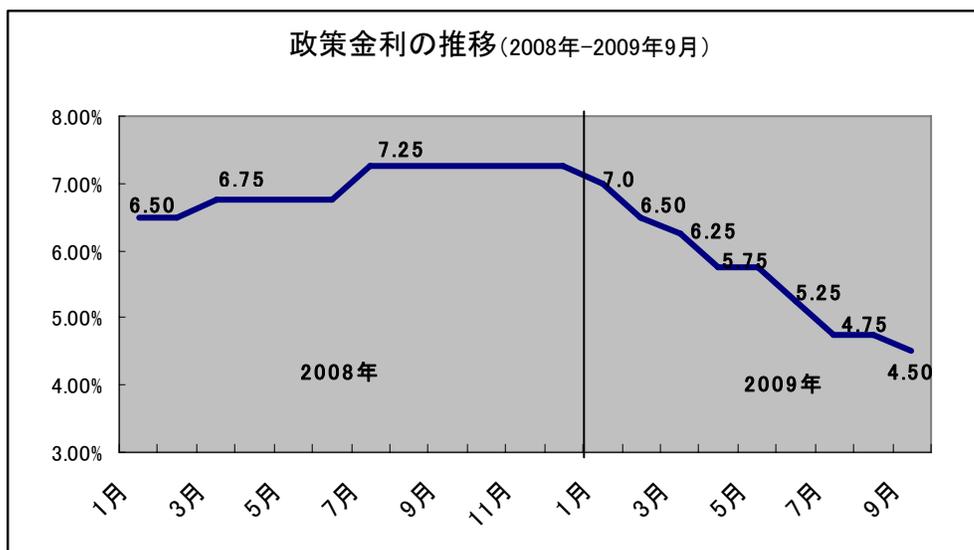
米国労働市場における失業の影響が依然として続き、9月の海外送金は 332.1 百万米ドルに留まり、2008年9月(371.8 百万ドル)比で 39.7 百万米ドル減(10.6%減)となった。

2009年1月から9月の海外送金総額は 2,972.3 百万ドルとなり、前年同期比(3,296.0 百万ドル)で 323.7 百万ドルの減少(9.8%減少)となった。



(5) 政策金利

16日、国家金融審議会は、政策金利を4.75%から4.50%へ、0.25ポイント引き下げる決定を行った。国家金融審議会は、本年のインフレ傾向に鑑み、国内における貸し付け条件の改善をもたらすことを狙いとしつつ、同時に、世界経済危機が底をついたと見られつつも依然様々な課題が残されていることを考慮し今回の金利引き下げを決定したとした。



(6) 税収

国税庁(SAT)は、2009年1月から9月までの税収(暫定値)について、前年同期(26,589百万ケツアル)比7.2%減の24,681百万ケツアルとなった旨発表した(10月6日)。国税庁によると、本年度の税収は、5月迄で前年同期比9.06%減、6月迄で7.89%減、7月迄で7.74%減、8月迄で7.43%減となっている。ビジェダSAT長官は、輸入品への付加価値税(IVA)収の減少が、本年の1-8月期は前年同期比で16%減であった一方、同1-9月期では前年同期比9%減に回復しており、税収減の傾向は落ち着きつつあるとの見方を示した。

2. 国内経済トピックス

(1) 2010年国家予算案の国会提出

2日、フエンテス大蔵大臣は、2010年度国家予算案総額47,867.4百万ケツアル(約5,767百万ドル)を国会に提出した。フエンテス大蔵大臣は2010年度国家予算案における優先分野について、社会支出及び環境分野とし、とりわけ、教育、医療、上下水を最優先分野とし、続いて、治安対策、国防、司法分野、経済、道路網整備、農村開発についても優先された旨述べた。

(2) 経済危機の影響

(イ) バイク売り上げ及び車輛輸入の減少

(a)19日付プレンサ・リブレ紙は、バイク輸入組合関係者の情報として、本年の国内におけるバイク売り上げが昨年比で34.58%減少した旨報じた。関係者の情報によると、本年1月から7月迄のバイクの売り上げは35,690台に留まり昨年同期(86,556台)比で18,869台の減少となった。

(b)22日エル・ペリオディコ紙は、国税庁(SAT)の情報として、本年8月も経済危機の車輛輸入への影響が継続している旨報じた。同紙によると、本年8月に輸入された車輛は計1,169台であり、昨年8月の2,280台に比較し減少した。また、中古車については、2008年8月に合計8,419台輸入された一

方、本年 8 月の輸入は計 6,988 台に留まった。

(ロ) 新規企業登録の減少

26 日付エル・ペリオディコ紙はグアテマラ商業登録所のデータとして、本年 1 月から 8 月までの登録された会社が計 3,386 社、商事会社が計 20,429 社に留まり、前年同期比で約 8.2%減少した旨報じた。

(ハ) シンクタンクによる雇用情勢調査

30 日付シグロ 21 紙はシンクタンク ASIES の報告として、2008 年 7 月から 2009 年 7 月までに、世界経済危機の影響で約 2 万 9 千人が失業した旨報じた。同報告は、国内 914 企業を対象に実施した企業家アンケートの結果に基づく者であり、回答者の 68%が生産量が減少したとし、同 15%が賃金を引き下げと回答し、同 45%が賃金水準を維持したと回答したほか、回答者の 10%が会社を閉鎖したと回答した。

3. 対外経済トピックス

(1) 対コロンビア FTA

24 日、コロンビアのプラタ商工観光大臣は、コロンビアの憲法裁判所が同国と中米三ヶ国(グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス)の FTA について合憲判断を下した旨発表した。グアテマラ国会は既に対コロンビア FTA の承認を終えており、コロンビアのウリベ大統領による批准を経て発効する見通しとなった。

(2) 対ペルー FTA 交渉への関心

25 日、モラレス経済大臣は、グアテマラ政府が対ペルー FTA 交渉に関心を抱いており、そのために、ペルー人企業家グループの中米訪問を受け入れている旨述べた。モラレス大臣によると、中米と EU の連携協定終了後、ペルーとの FTA 交渉を開始することが視野に入れられている。

(3) 第二回中国物産展の開催

3 日、当地における第二回中国物産展が開始し、中国企業約 30 社が参加した。Xu Hubin 国際貿易振興中国審議会事務局長は、中国はグアテマラを中米における有力なパートナーと位置づけており、両国間の貿易関係強化に努めている旨述べた。参加した中国企業は、建築関係、家電、軽工業、電話通信、コンピューター、自動車、バイクなど幅広い分野にわたった。

(了)